

問1 東南アジア諸国連合（ASEAN）に関する説明として、その設立の背景や現在の取り組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。

。（2019年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. アメリカ、カナダ、メキシコの3か国が、北米大陸内での関税を撤廃して自由貿易を促進するために結成した組織である。 | 2. 日本やアメリカ、中国を含む太平洋を取り囲む国々が、貿易や投資の自由化を進めるために組織した枠組みである。 | 3. ヨーロッパ諸国が政治的・経済的な統合を目指し、共通の通貨であるユーロなどを導入して強い影響力を持っている。 | 4. 多様な宗教や民族を抱える東南アジア諸国が、互いの主権を尊重しながら経済成長や地域の安定を目指して協力している。 |
|--|---|--|--|

問2 東南アジアに位置し、国旗の中央に世界遺産の寺院遺跡が白色で描かれている国で、国民の多くが仏教を信仰している国はどこですか。

（熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|-------|
| 1. ミャンマー | 2. カンボジア | 3. ベトナム | 4. タイ |
|----------|----------|---------|-------|

問3 カンボジアの国旗の中央に白色で描かれている世界遺産の建造物と、この国で主に信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものはどれですか。

。（2026年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|----------------|
| 1. ボロブドゥールー ヒンドゥー教 | 2. アンコール・ワットー 仏教 | 3. アンコール・ワットー イスラム教 | 4. ボロブドゥールー 仏教 |
|--------------------|------------------|---------------------|----------------|

問4 世界の地形に関する説明のうち、ユーラシア大陸にあるヒマラヤ山脈の成り立ちや特徴について述べたものとして最も適切なものを選びなさい。

。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. ヨーロッパ中央部に位置し、比較的古くに形成された後に再び隆起した、標高4,000m級の山々が連なる山脈である | 2. アフリカ大陸西北部に位置し、地中海沿岸に広がる比較的新しい時代に形成された山脈である | 3. インド亜大陸がユーラシア大陸に衝突することで隆起した、エベレストなどを含む険しい山脈である | 4. 南アメリカ大陸の西側に位置し、南北に約7,000kmにわたって長く伸びる環太平洋造山帯の山脈である |
|---|---|--|--|

問5 サウジアラビアなどの産油国における経済統計を確認すると、原油価格が1バレルあたり94ドルと高値であった2008年には、国内総生産（GDP）も2081億ドルと高い水準にありました。しかし、価格が61ドルにまで落ち込んだ2009年には、GDPも1695億ドルへと減少しています。このような統計から読み取れる、産油国の経済の特徴として適切なものはどれですか。

。（2016年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|
| 1. 国内総生産の規模は、原油価格の推移とは逆の方向に動く性質を持っている | 2. 製造業が高度に発達しているため、原油価格が変動しても国内総生産は一定である | 3. 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある | 4. 原油価格の下落は、国内の消費を刺激するため国内総生産を押し上げる要因となる |
|---------------------------------------|--|---|--|

問6 中国の石炭消費量は、2010年の約3,200百万トンから2014年の約4,100百万トンへと急増しました。この背景にある事情と、それによって生じている影響についての説明として適切なものを選択してください。

。（2018年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 生活水準の向上による家庭用ガス燃料への転換が背景にあり、温室効果ガスの排出抑制に成功している。 | 2. 急速な経済成長に伴う電力需要や工業生産の拡大が背景にあり、PM2.5などによる大気汚染が問題となっている。 | 3. 原子力発電所の全廃による代替エネルギー需要が背景にあり、酸性雨の被害が周辺諸国を含め解消に向かっている。 | 4. 内陸部の砂漠化防止を目的とした大規模な植林事業が背景にあり、石炭の灰が肥料として活用されている。 |
|--|--|---|---|

問7 インドでは近年、自動車産業が急速に発展し、2022年には生産台数が世界4位、販売台数が世界3位となりました。2002年から2022年にかけての人口推移や経済指標から読み取れる、この成長の主な要因として最も適切な説明はどれですか。

。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 人口が約14億人まで増加し、1人あたり国内総生産（GDP）の上昇によって国内需要が高まったため、供給体制の整備が進んだ。 | 2. 国内の需要が低迷したため、政府が国内供給を制限し、先進国向けの高級車輸出に特化する政策をとった。 | 3. 国内の人口が減少に転じたことで労働力が不足し、それを補うために輸出向けの自動運転技術が飛躍的に発展した。 | 4. 1人あたり国内総生産（GDP）が停滞したため、低賃金の労働力を活用した海外市場向けの輸出専用車のみが成長を支えた。 |
|---|---|---|--|

問8 中国の人口動態に関する1970年代から2020年頃にかけての統計において、1970年代から一貫して下降線をたどり、特に近年では人口1000人あたりの数値が極めて低い水準まで落ち込んでいる指標はどれですか。

。（2024年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|----------|----------|--------|
| 1. 死亡率 | 2. 都市人口率 | 3. 乳児死亡率 | 4. 出生率 |
|--------|----------|----------|--------|

問9 東アジアに位置するある都市の気候について、1月の平均気温がマイナス5度を下回るほど寒冷である一方、7月と8月の2ヶ月間に降水量が集中し、それぞれ200mmを超えるという統計があります。この気候の特徴を持つ都市として最も適切なものを選択してください。

（類似）

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 東京 | 2. デンバー | 3. ローマ | 4. 北京 |
|-------|---------|--------|-------|

問10 世界各地の気候と住居の関係について述べた次の文のうち、東南アジアの地域で見られる伝統的な住居の特徴を正しく説明しているものはどれですか。

。（2018年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 家畜とともに移動しながら生活するため、木枠と毛織物でできた組み立て式の住居 | 2. 冷帯の広い範囲に分布する針葉樹の丸太を使い、寒さに耐えられるようにした住居 | 3. 乾燥した気候で樹木が少ないため、日干しレンガを積み上げて壁を厚くした住居 | 4. 降水量が多く湿度が高い環境に適応するため、床を高くして通気性を高めた住居 |
|--|--|---|---|

問11 世界の統計において、アジア州の二酸化炭素排出量が世界全体の50%を超える高い水準となっている背景として、最も適切な説明はどれですか。

。（2020年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 中国やインドをはじめとする国々で急速な工業化が進み、石炭などの化石燃料の消費量が大幅に増加したため。 | 2. 北アメリカやヨーロッパの国々が全ての工場をアジアに移転し、自国での排出量をゼロにする政策をとったため。 | 3. 西アジアの産油国において、石油の精製過程で発生する二酸化炭素が州全体の排出量のほとんどを占めているため。 | 4. アジア州の全域で熱帯林の破壊が進み、植物による二酸化炭素の吸収量が世界で最も少なくなったため。 |
|---|--|---|--|

問12 インドの地理的・文化的特色について述べた文として、宗教と産業の関係に着目した記述として正しいものはどれですか。

（類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. ヒンドゥー教徒が多いため、牛を神聖視して牛肉の食用を避ける一方で、牛乳などの乳製品の生産が盛んである。 | 2. カースト制度の影響により、特定の身分以外の国民は動物から得られる乳製品を口にすることが禁じられている。 | 3. イスラム教徒が多いため、不浄とされる豚だけでなく、宗教上の理由から牛の飼育も一切行われていない。 | 4. 仏教徒が人口の大部分を占めており、殺生を禁じる教えから、家畜を飼育する畜産業自体がほとんど行われていない。 |
|--|--|---|--|